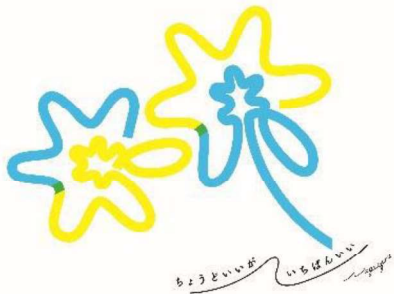


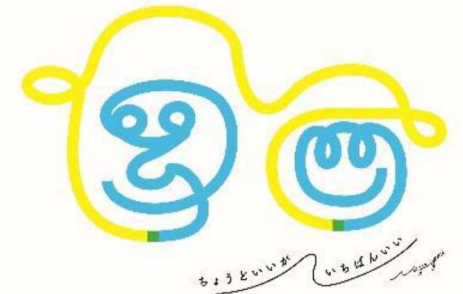
令和6年度地域づくり加速化事業 「つながる・知る・生まれる」 支援を受けて

ちょうどいいが いちばんいい
agaizumi

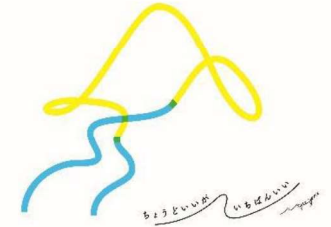
CLEMATIS



CHILDREN & ELDERLY



静岡県長泉町長寿介護課
令和7年6月11日(水)



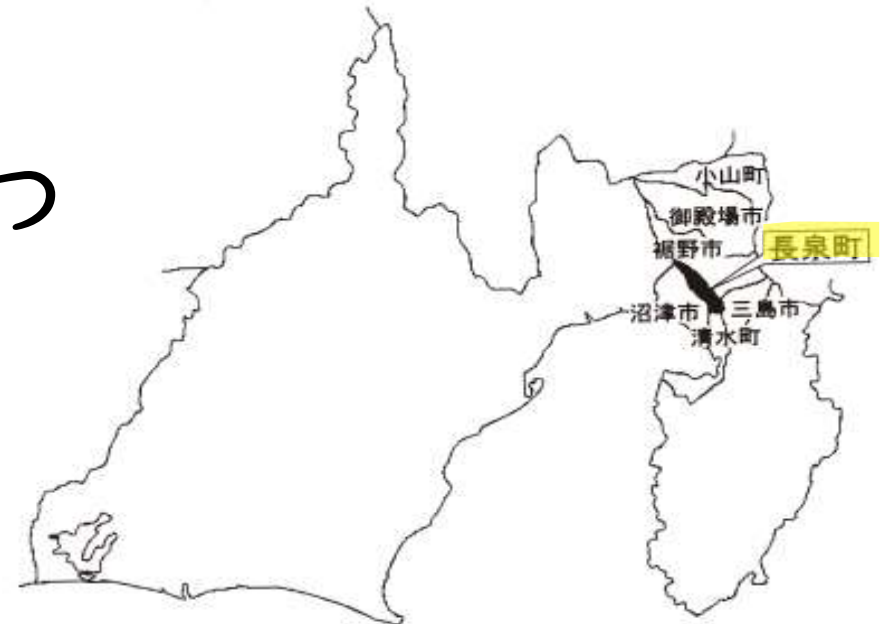
長泉町の高齢化の状況

高齢化率（65歳以上人口）R7.4.1現在
9,791人／43,480人 **22.5%**

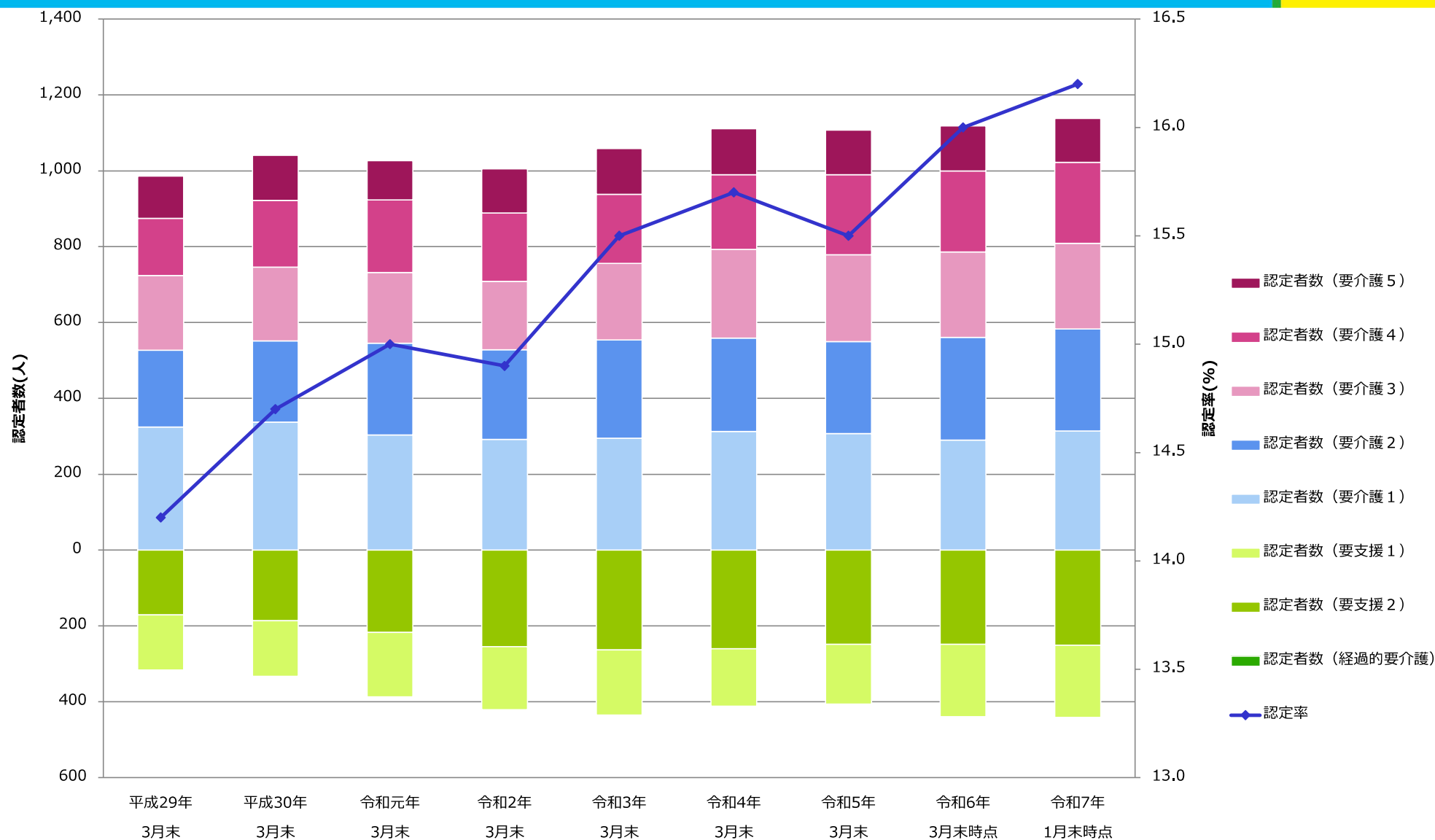
要介護認定率（令和5年度末）
1,557人 **16.0%**

日常生活圏域数：**2**つ

委託包括：**2**ヶ所
（北部・南部）



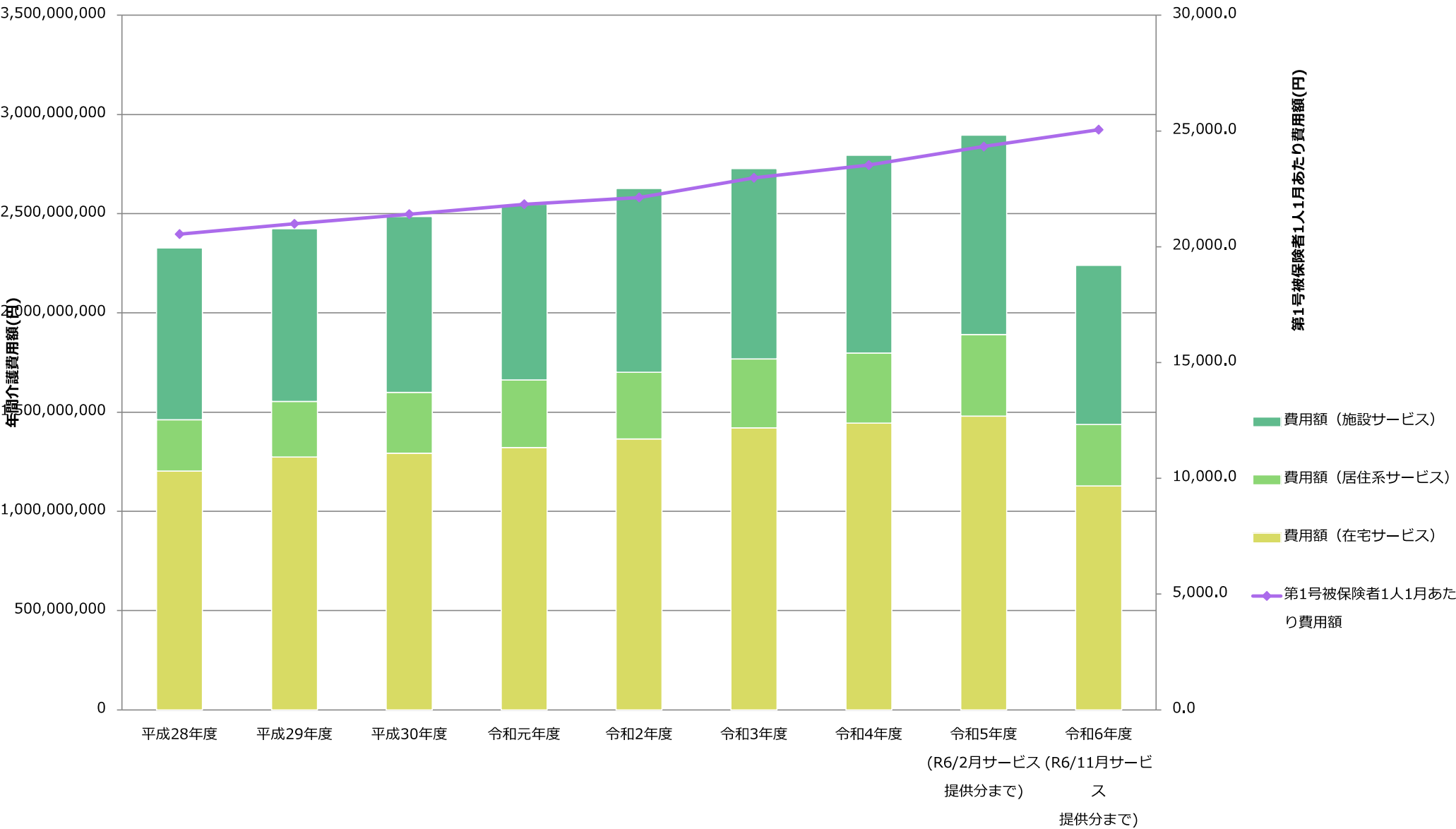
長泉町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



（出典）平成28年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度：「介護保険事業状況報告（3月月報）」、令和6年度：直近の「介護保険事業状況報告（月報）」

長泉町の介護費用額の推移

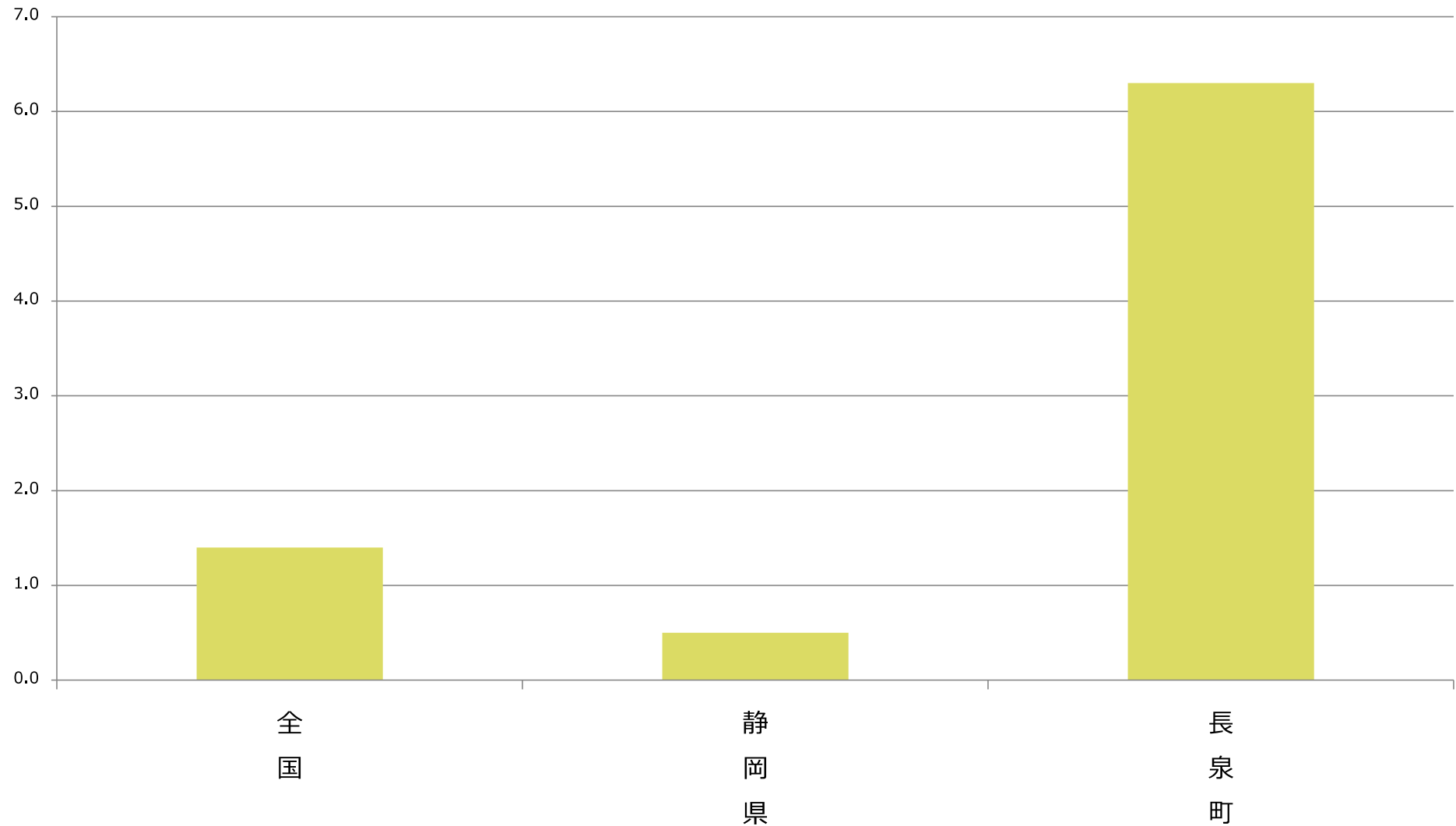
長泉町の第1号被保険者1人1月あたりの費用額の降順		
(令和 6年11月末時点)		
静岡県内	14番目	35保険者
全国	1,035番目	1,573保険者



(出典) 【費用額】平成28年度から令和4年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和5年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和6年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）
【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況

旧介護予防訪問介護に相当するサービス実施延べ件数【65歳以上人口1万 対】（令和3年3月(2021年3月)）

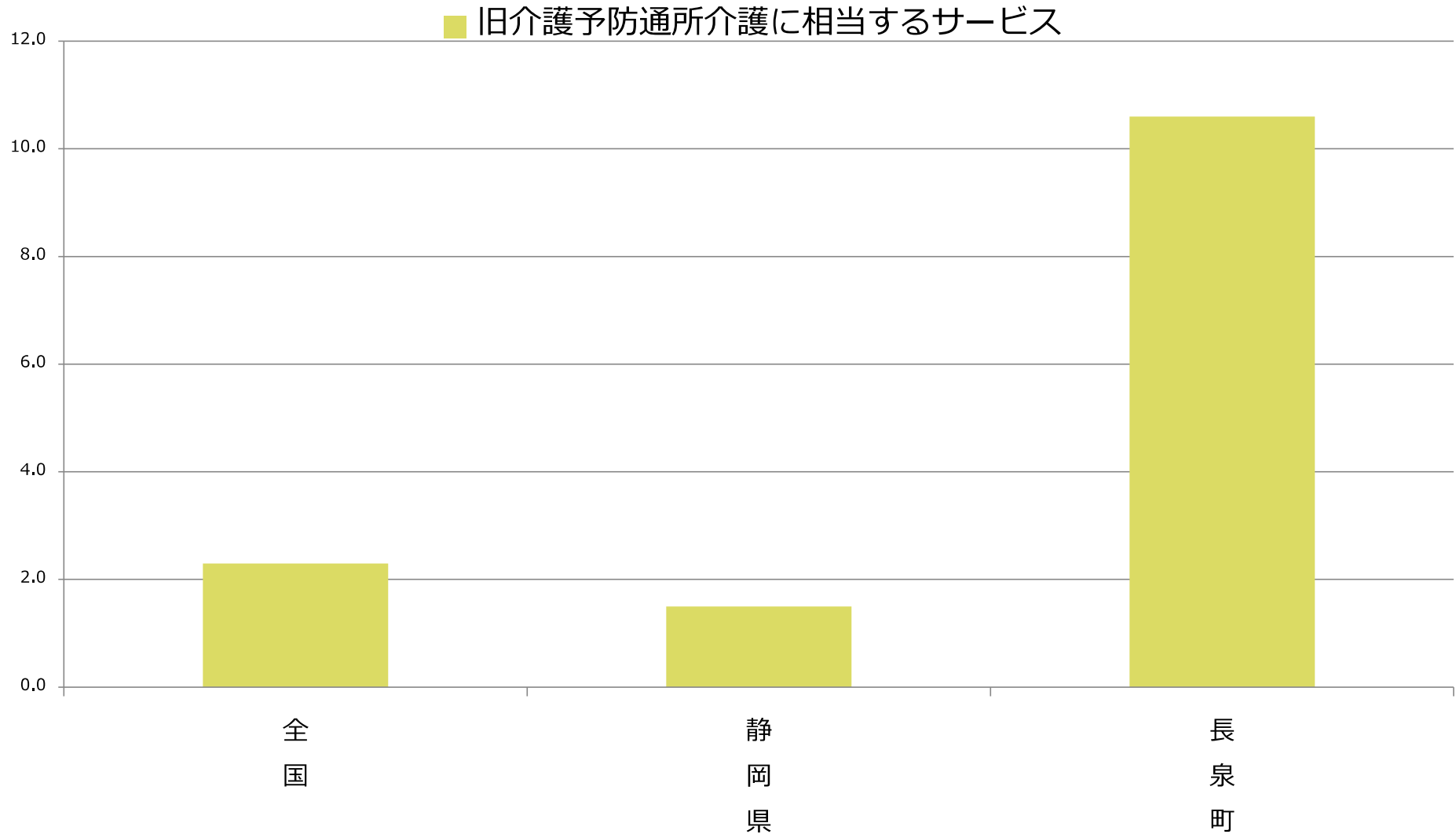
■ 旧介護予防訪問介護に相当するサービス



（時点） 令和3年3月(2021年3月)

（出典） 厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」

旧介護予防通所介護に相当するサービス実施延べ件数【65歳以上人口1万対】（令和3年3月(2021年3月)）



（時点）令和3年3月(2021年3月)

（出典）厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業（地域支援事業）の実施状況に関する調査結果」

今までの現状

介護予防・生活支援サービス事業

平成29年度 総合事業を開始

従前相当サービス（訪問型サービス、通所型サービス）

緩和した基準によるサービス（通所型サービス・活動Aのみ）

令和6年度 住民主体による支援の位置付けを創設

訪問型サービス・活動B（小学校区ごとで住民による支援団体が活動）

通所型サービス・活動B（位置付けはあるものの該当団体なし）

一般介護予防事業

介護予防普及啓発事業

（口腔フレイルに関する教室 年2回 、 認知症予防に関する教室 年3回）

地域介護予防活動支援事業（住民主体の通いの場における介護予防教室）

介護保険の利用

介護保険の認定申請は、家族が困り申請をすることが多い。

サービス利用が目的。困りごとの解決のためにサービス利用が当たり前の状況。

介護保険料（第1号被保険者の基準額）の月額保険料の推移 伸び率13.5%

第8期保険料月額 5,200円 ⇒ 第9期保険料月額 5,900円

介護予防に積極的に 取り組む必要がある!!!

⇒超高齢化社会、人材不足の中、現状を改善するために、高齢者の目標の達成のための支援を短期集中的に行う **リエイブルメント事業**（**訪問型サービス・活動C創設**）の実現に向け、準備を整え、本格的に実施できるように取り組んでいきたい。

リエイブルメント事業を実施する課題

- ・介護保険申請を扱う窓口職員、包括職員、SC、サービス調整をするCMに対しても共通認識をもつことが重要だが、できていないので、情報共有し、理解してもらうことが必要である。
- ・実施に向け、検討を進めていきたいが、何から始めたらいいのかわからない。いつまでに、何をすれば実現可能なものなのか？
- ・リエイブルメント事業の実施後のつなぎ先としての通いの場等、インフォーマルサービスの充実も必要であると考えるが、担い手不足でなかなか立ち上げも難しく、受け皿が少ない。
- ・協力していただけるリハビリテーション専門職のマンパワー、包括のマンパワーがどれだけあり、人員がどれだけ必要なのか把握できていない。
- ・協力をいただくリハビリテーション専門職の方にどの程度負担をかけてしまうのか枠組みができていないので見通しが立てられていない。

令和6年度 地域づくり加速化事業の支援

令和6年8月13日 オンライン0.5mtg

現状・課題の共有、今年度やりたいこと、目標設定
モデル事業の実施が決まる

令和6年10月3日 現地支援1回目

包括に相談に来ているケースの事例検討

令和6年10月28日 オンライン1.5mtg

実際に支援している包括・リハ職の方からのレクチャー

令和6年12月12日 現地支援2回目

同行訪問アセスメントの事例内容実施報告

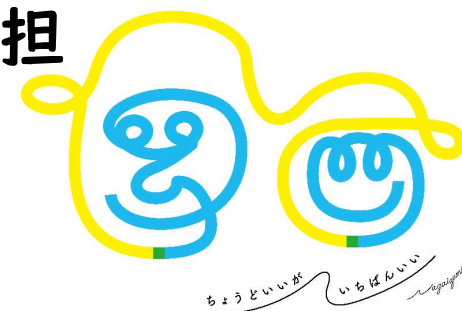
令和7年1月14日 オンライン2.5mtg

帳票の相談、訪問型サービス・活動Cの流れの確認

令和7年2月12日 現地支援3回目

訪問型サービス・活動Cの流れの共有、役割分担
専門職向け研修会の実施

CHILDREN & ELDERLY



モデル事業の実施内容

まずはリエイブルメントの視点に立って、成功している防府市、豊明市、八王子市に習って取り敢えずモデル事業を実施してみよう！やってみないことには良くも悪くもわからない！

- ・同行訪問アセスメントの実施
- ・介護予防給付の訪問リハ・
訪問看護の中で訪問型サービス・
活動Cと同等の内容を実施

MOMOZAWA-KOUGEIMURA



～長泉町の高齢者支援を新たな取り組みを開始します～

長泉町の高齢者支援は「いきいきとした暮らしを支える 優しい ながいずみ」を目標に、今後創設予定の「短期集中予防型サービス」を中心としたサービス体系へと見直しを行っていきます。

介護サービス等の支援が一度必要となった人でも「元の生活に戻る」ことを目指す仕組みを構築していきます。

明らかに介護が必要な人はこれまでどおりの介護サービスを利用していきます。

①介護相談窓口

生活での困りごとや身体の状態を詳しくお聞きしたうえで、地域包括支援センターと早期に関わる体制を構築し、必要な人への適切な支援を行います。



②訪問アセスメント

地域包括支援センターの職員とリハビリ専門職が自宅を訪問し、生活の様子や身体を確認します。
元の生活を取り戻すための適切な目標を提案します。



③短期集中予防型訪問サービス

～オーダーメイドのプログラム～

アセスメントで設定した目標を達成し、サービス終了後に**自信をもって「元の生活に戻る」ことを目的**とした3か月間のプログラムを実施します。

リハビリ専門職等が現状の課題や今後の目標を話し合う面談を中心とした3か月間のプログラムです。



④地域とのつながりの場

～やりたいことを自分で選ぶ～

高齢者の生きがいと健康維持のため、社会参加の場を整備し、すべての高齢者が「お互いに支え合うことができる」仕組みを構築します。

地域活動だけでなく、趣味活動やスポーツ、ボランティアや就労等、好きなことを自分で選択し、自信を持って地域で暮らしていきましょう。



事例を通して

- ・本人が前向きに意欲的に取り組むことができ、歩行状態にも改善！
- ・ごみ屋敷であった家が片付けられるようになり、飲酒・喫煙を辞めるにまで行動変容が見られた。
- ・目標が達成され、3か月経たずに介護保険も使わずに卒業となった。

介入をしなければずっとヘルパーやデイを利用していたであろうケース・・・

効果絶大！！！！

全体を通して支援からの気づき（振り返り）

- ・現在支援している要支援者の新規の相談ケースを通して、今現在行われている支援を見直すことができた。介護保険サービスを申請して非該当が出ても、事業対象者になれば要支援Ⅰ相当と同じデイ、ヘルパーを使える仕組みになっており、どんどんサービスを利用させることを自ずと進めていた。
- ・委託2包括が介護予防ケアマネジメントの9割を居宅介護支援事業所へ委託をしていることに課題がある。
- ・サービスを続けることで生活維持をすることを自立として、元の生活に戻すことができる能力があるという視点はなかった。
- ・インフォーマルなサービスでは通いの場を増やしていくことが必要と思っていたが、社会資源はそれだけではなく、本人を取り巻く全てが社会資源であることに気づけた。（畑、カラオケ、趣味活動、買い物、映画、音楽鑑賞などなど）
- ・関係職員（包括職員、SC、リハビリ職員）に共通認識を持ってもらえるように話し合いの場を持て、事例を通してそれぞれの専門性の再認識することができた。

加速化事業を受けてよかったこと

- ・リエイブルメント事業に向けて否定的であった包括職員も実際にアドバイザーの話を聞いて、認識が変わり前向きに取り組んでもらえるようになった。
- ・新しい制度改革の正しい理解をすることができた。
- ・加速化事業を受けていることを理由に予算がつきやすかった。
- ・当初は予算もなかったもので令和9年度から本格実施に向け、令和7年度の協議会の立ち上げ、関係職員と共通認識を持つ研修会の実施、令和8年度にモデル事業の実施を検討していたが全てが令和6年度中に実施することができた。

令和7年度の長泉町のリエイブルメント事業

①同行訪問アセスメント事業の実施、訪問型リエイブルメント事業の委託による実施

地域づくり加速化事業で協力いただいたリハ職の方が所属する訪問看護ステーションと訪問リハビリテーションセンターの2ヶ所に委託契約を締結

同行訪問アセスメント事業 50件（実施予定）

訪問型リエイブルメント事業 30件（実施予定）

②ケアマネジメントBの創設

地域包括支援センターにおいてケアマネジメントを実施

③リエイブルメント事業周知のための関係者説明会の実施

④地域ケア会議にてリエイブルメント事業の検討会を実施

制度設計について、帳票の確定、
地域の医療機関への働きかけ等

今後目指したい姿

- ・役場や包括の窓口相談・申請に来た
改善可能性のある方は、まず、リエイブルメント事業！
「元の生活を取り戻す」ことを目指す方が増える
- ・専門職、包括、役場の職員、地域住民などの理解
要支援、事業対象者＝改善可能性がある人
当たり前のこととして浸透する



- ・リエイブルメント事業により、元の生活を取り戻し、
いつまでも元気に過ごす高齢者が多い長泉町へ